

2025(令和7)年度「セイヨウオオマルハナバチ防除活動」の記録

北海道ボランティア・レンジャー協議会

事業名	特定外来生物「セイヨウオオマルハナバチ」防除活動
開催日時	2025(令和7)年4月26日(土) 10:00-11:00
天候	曇/雨(風強し) 活動時の気温9.7℃ 朝の最低気温3.1℃ アメダス江別
活動従事者と時期	<ul style="list-style-type: none"> ・「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」に基づき、会員有志が、「セイヨウオオマルハナバチ」バスターズ”の申請を行い、知事名による「従事者証」と「腕章」などの交付(有効期限は、2031(令和13)年3月31日。)を受け、ボラレンとして、この時期に集中的に防除活動を行っている。 ・越冬した女王蜂が新たにコロニー作りを始めるこのタイミングで捕獲・防除することが、効果的(飼育下の調査によると、1つのコロニーから800~1000頭の働き蜂と、60~180頭の新女王が誕生する)とされる。
活動概要	<ul style="list-style-type: none"> ・今季は、4月18日以降「北海道開拓の村」正面階段下の花壇に植栽されたエゾムラサキツツジの開花状況とセイヨウオオマルハナバチの出現状況、空模様などを勘案しつつ、防除活動に取り組んだ。 ・可能であれば、「開拓の村」敷地内にも活動範囲を広げることも視野に調整したが、天候に翻弄されるなど、実現できなかった。 ・ボラレン活動日としての26日(土)も、朝の陽射しはどこえやら、早々に冷たい雨と風に見舞われ、予定を早め11時に切り上げた。 ・この活動期間中、参加会員は、延べ18人(実員6人)を数え、合わせて50頭を防除することができた。
感想等	<ul style="list-style-type: none"> ・このところの天候不順で、開花もさることながら、セイヨウオオマルハナバチの出現が多少遅いようで、ビロウドツリアブなどもまばらであった。 ・花壇の一部が除雪の堆積場とされ、草刈りに伴うと思われる根際の損傷も散見されるなど、植栽木の状況は悩ましい。 ・在来種のエゾオオマルハナバチなどを混獲・防除しないよう留意した。 ・行き交う市民に、防除活動への理解を深める。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・バスターズ登録メンバーは、今後も各所で随時「防除活動」に当たる予定。



防除対象：セイヨウオオマルハナバチ



バスターズ活動風景



活動期間中の防除成果 = 50頭



鯉のぼりがそよぐ「開拓の村」正面 (記録：事務局)